

琵琶演奏者 黒田 月水

# 琵琶演奏

即興による  
コラボレーション  
& フラメンコ

きょうのまい

# 東歌に西舞

にほん あずま 日出る国・東(日本)の歌が、  
きょう 日沈む国・西(スペイン)の舞と合体する!!  
 (ちなみに、スペインを漢字で「西」と表記し、  
 東男と京女の相性の良さを言葉がけています。)

●日程: 2月14日 SUN  
 PM 2:00 ~ 4:00

【第I部】: まほろば本店地下「無限心庵」  
 琵琶演奏 1、幻風〜げんぷう〜 オリジナル曲  
 2、壇ノ浦 ~平家物語より~  
 3、茨木童子 ~渡辺の綱VS酒呑童子~  
 4、まろうわん~此花咲弥姫~

【第II部】: まほろば本店 2F  
 ~琵琶演奏とフラメンコによる即興コラボレーション~

●入場料: 2,500円 ●定員: 30名  
 ●お申込み: 665-6624 (まほろば本店)

※本店にお越しの方は駐車場のスペースがございませんので公共の交通機関をご利用ください。



琵琶演奏者  
黒田 月水さん

●プロフィール: 四国土佐清水に生まれる/1979年高知にて剣道を学ぶ、全国高校総体高知代表・1987年流政之と出会い、中谷襄水にひきあわせれ師事/1988年西枇杷島国際町づくりシンポジウム参加/1988年新井姿水について学ぶ/1989年特許庁彫刻除幕式にて演奏/1990年大阪国立音楽劇場、土佐清水市文化会館にて黒田月水琵琶リサイタル、牟禮印刷ファクトリーコンサート/1990年NHK邦楽オーディション合格/1991年NHK邦楽技能者育成会卒業、同期と美夢音会を結成、同年日暮里サニーホールにて演奏/1993年大阪国立音楽劇場にて黒田月水リサイタル開催/1994年東京原宿アコースタジオにてコンサート/1995年流政之の企画により、土佐琵琶「坂本龍馬血闘 寺田屋」の運動をはじめ、土佐琵琶をうたてたため、高知にもどり、音曲方言の歴史を通し、土地の人々の協力のもとに、新曲の制作にかかる。



フラメンコ  
藤本 美由紀

●プロフィール: 旭川出身  
 1996年よりフラメンコを始める。  
 スペインにて Rosa Zarate .El Guito.La Nena Ladrilloらに師事。



土佐琵琶創始者の黒田月水女史。

舞台栄えのする容姿端麗の彼女の奏する音味と美声に魅了されるファンも多い。初対面である。



「来月、札幌でフラメンコの『曾根崎心中』があるので、どうぞ」というお誘いを受け、丁度、韓国の後藤吉助翁が、講演のために来札されるので、ご一緒した。

主催はSTV、その幹部で昔からお世話になっている城下さんのお姉さんでもあり、フラメンコ修行中の緒方紀子さんとも伴った。

### フラメンコ曾根崎

宇崎竜童さんプロデュース作曲の現代版「曾根崎心中」は、若者にも理解しやすい内容で、東西を融合された演出は、ヨーロッパでも好評を博しているという。

その中でも、和太鼓や琵琶の和楽器による前奏・間奏・伴奏は、舞台全体を締めて、この演奏なくては美りのないものになってしまうという

## 社長の BLOG から

●「まろうわん」  
 琵琶演奏、黒田月水さん

2014年12月22日

11月16日の東京求道会館での「衣食革命」の講演会で、私の朗読に、即興の琵琶で伴奏を勤めてくださった



力演と存在感であった。改めて月水師の力量を垣間見た思いであった。

公演後、皆さんと楽屋を訪ね、労をねぎらい、再会を喜び合った。

二人も初めての演奏に感激の面持ちと言葉に、互いに良き時を味わったのだ。

後日、まほろばを訪ねるお約束を果たされて、地下洞にて、奇しくも生演奏をしてくださったのだ。それが、彼女の作詞・作曲の『まろうわん』という琵琶独奏曲であった。

何でも、富士山と木花咲耶姫にまつわるお話だとか。

ここにも、何かしら深い縁生を感じるのだ。そして、来年7月、札幌で公演会を開かれるという。

再び、まほろばで、正式に演奏会を開こうと約束し、東京にお帰りになられた。

緒方さんのフラメンコ繋がりもあり、面白い企画が出来そうである。それにしても、女性音楽家の多い昨今である。

かような方々が、日本を再建されようとされておられる。

まさに、女神の時代、母性の世紀が到来したのである。

